

3D計測技術学ぶ

日測協、実務者向けセミナー

日本測量協会（日測協、清水英範会長）は6日、「実務者向けセミナー」3次元計測技術の活用」を開いた。写真。9回目の開催となる。会場開催（東京都港区の品川フロントビル）



とオンライン配信を併用。会場74人、オンライン46

8人が参加し、これまでで最大規模となった。

冒頭、日測協の住田英二専務理事は「UAV（無人航空機）が普及し、3次元計測技術も定着しつつある。技術の活用方法を学んではほしい」とあいさつした。

セミナーでは、ルーチェサーチ（広島市東区）の渡辺豊社長がUAV計測技術、

タックエンジンエアリンク（千葉市花見川区、松坂裕之社長）の原田昌大氏が固定翼UAVを説明した。

計測リサーチコンサルタント（広島市東区、梅本秀二社長）の西村正三氏は災害時の文化財建造物保護、大日コンサルタント（岐阜市、市橋政浩社長）の平田

武史氏と大同コンサルタント（同、浅野芳宏社長）の長谷英治氏は、地域測量設計業のDXによる災害対応力向上について話した。

中電技術コンサルタント（広島市南区、森川繁社長）の荒木義則氏は、UAVの実証事業を解説した。